

令和3年度事業計画  
社会福祉法人ラポール

経営理念

関わる全ての人を笑顔にするラポール

法人の使命

- 1、法令遵守と人権尊重
- 2、自己実現と社会参加
- 3、安心と安全
- 4、法人の事業基盤の強化

一、法人全体の事業計画

(1)実施事業

- ・就労継続支援B型事業(マルシェ:定員 60 人)…下戸次・田尻
- ・共同生活援助事業(グランディール寒田:定員 21 人)…寒田・敷戸
- ・短期入所事業(グランディール敷戸:定員 1 人)…敷戸
- ・放課後等デイサービス事業(プレジール:定員 10 人)…田尻
- ・日中一時支援事業(エスポワール:定員 10 人)…下戸次

相特定相談援事業・障害児相談支援事業(リュミエール)は休止し、1 年後に再開・廃止を決定します。

(2)法人運営体制の整備

- ・理事長—理事長補佐体制整備
- ・事業所ごとに運営会議の開催(月 1～2 回)
- ・施設長—サービス管理責任者—主任支援員のライン体制づくり
- ・教育主任体制づくりと研修
- ・相談支援員体制づくり
- ・事務課長体制
- ・ライン会議・プロジェクト会議の開催
- ・指揮系統の確立と人材育成
- ・外部専門講師による研修
- ・職員の専門資格取得支援

(3)委員会活動の活性化

- ・虐待防止・苦情・事故対応委員会
- ・広報委員会
- ・防災・感染症対策委員会
- ・イベント・地域活動委員会

(4)重点活動のポイント

- ・安心・安全を基本とした障害福祉サービスの提供
    - 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底とクラブ活動の再開
    - 温暖化―災害の激甚化を踏まえた定期的な避難・防災訓練の実施
    - 安全運転・作業中の事故防止・行方不明防止の徹底
  - ・広報活動の強化
    - 広報紙・ホームページ・SNS
  - ・人権尊重・虐待防止の徹底
  - ・地域公益活動
    - すみれ学級(子ども食堂)へのパンの提供
  - ・福祉・介護職員処遇改善加算活用と職員の処遇改善
- (5)高齢化を見据えた事業展開をめざす
- ・養護老人ホーム開設の検討
  - ・受託事業の調査・折衝
- (6)経営基盤の強化をはかる
- ・利用者の増加・通所率の向上
  - ・労働生産性の向上
  - ・競争見積による費用の圧縮
  - ・収支構造の改善

## 二、事業所ごとの事業計画

### 1、就労継続支援 B 型「マルシェ」の事業計画

#### (1)支援体制を整備し利用者の自立と就労を支援

- ・施設長―サービス管理責任者―主任支援員のライン体制、教育主任体制、相談支援員体制を構築
- ・運営会議の開催により事業所全体の課題を共有・解決していく
- ・一般就労促進、工賃向上、生活能力の向上をはかる
- ・専門研修により障害特性に対応できる支援力の強化をはかる
- ・縦割り運営からチーム運営(パン・クッキー部門とワーク部門)に再編し連携を強化して支援力を高

める

#### (2)工賃向上の促進

- ・目標工賃達成指導員を配置し 6:1 の人員基準で支援する。
- ・平均工賃 15,000 円を超えることをめざしてステップアップする
- ・外部講師による専門技術研修をすすめ製品の品質向上をはかる
- ・ライン会議・プロジェクト会議により計画的な販売・配達システムをつくる
- ・外部企業からの受託作業契約を拡大する

#### (3)クラブ活動を再開し楽しい事業所にしていく

- ・新型コロナウイルス感染のため中断していたクラブ活動(毎月 1 回・土曜日)を感染予防対策を徹底

したうえで再開する

- ・利用者の満足度・モチベーションを高め安定した生活リズムを維持していく

(4)労働環境の整備

- ・休憩室の確保
- ・交代制による昼休憩の確保

(5)日中(通所)―夜間(グループホーム)の相互連携

- ・マルシェ・グランディール寒田の一貫した連携体制で効果的な利用者支援をはかる
- ・施設間の支援情報共有化
- ・職員の応援・連携体制

(6)計画・目標

利用者	就労継続支援 B 型 定員 60 人 年間利用日数目標 16,844 日
事業所	下戸次、田尻
就労支援販売目標	年間 16,104,000 円
工賃目標	月平均 12,000 円
サービス活動収益計	140,850,000 円目標
加算	食事提供体制加算、目標工賃達成指導員配置加算、「福祉専門職員配置加算 I、欠席時対応加算、初期加算、重度者支援加算 II、処遇改善加算、特定処遇改善加算
年間スケジュール	別紙

## 2, グループホーム「グランディール寒田」の事業計画

### (1)3ヶ所の住居で運営

事業所名称	住居名称	住所	定員
グランディール寒田	グランディール寒田 I	寒田 239-1	7
	グランディール寒田 II	寒田 239-1	7
	グランディール敷戸	敷戸南町 290-10	7
計			21

- ・生活支援員を配置した介護サービス包括型事業所として運営
- ・世話人配置 4:1
- ・グランディール敷戸は短期入所 1 室を併設型で運営
- ・毎月運営会議を開催し事業所全体の課題を共有・解決していく

### (2)地域の中で安心して暮らせるよう支援

- ・世話人―食事提供と清掃
- ・生活支援員―健康管理、通院介助、服薬支援、外出支援、金銭管理支援、相談、入浴・洗濯・掃除などの日常生活支援
- ・安心サポートセンターを活用した金銭管理支援

### (3)安全確保の徹底

- ・スプリンクラー、防犯カメラ、非常消防通報装置の設置
- ・災害対策計画に基づく避難訓練の実施
- ・夜間宿直職員と法人職員による緊急時支援体制
- ・セキュリティ会社との緊急時対応契約に基づく支援
- ・市内福祉施設による緊急時相互支援体制

(4)他事業所との連携・日中活動との連携

- ・就労先企業、通所事業所、ジョブコーチとの緊密な連携
- ・バックアップ施設:マルシェ

(5)ホーム稼働率の向上

- ・長期入院・地域移行等による退所が多かったため早期に満床をめざす
- ・入退所は判定会議により組織的に協議・決定する

(6)計画・目標

利用者	満床を目指し定員の9割稼働率を確保 年間利用日数目標合計 5314日 寒田Ⅰ 2063日 寒田Ⅱ 1813日 敷戸 1438日
サービス活動収益計	34,932,000円目標
加算	福祉専門職員配置加算Ⅰ、夜間支援体制加算ⅡⅢ、処遇改善加算、特定処遇改善加算

3、短期入所事業「グランディール敷戸」の事業計画

(1)グループホーム「グランディール寒田」敷戸住居に併設型で運営

- ・利用定員 1人
- ・居室 1階に専用室が1室(12㎡)
- ・利用料 朝食230円 昼食300円 夕食380円 入浴250円 光熱水費300円
- ・世話人・生活支援員はグループホームと一体的に担当しグループホームに準じたサービスを提供

(2)計画・目標

利用者	定員1人 週当たり4人 週当たり16日の利用目標
サービス活動収益計	681,000円目標

4、障害児通所支援・放課後等デイサービス「プレジール」の事業計画

(1)授業の終了後又は学校の休業日に生活能力向上のための訓練、社会との交流促進を実施

- ・支援学校(支援学級)の小中高の児童生徒対象
- ・定員10人
- ・放課後及び夏休み等の長期休業日の期間に開所
- ・児童支援員・保育士・看護師・社会福祉士を配置する

- ・月 1 回運営会議を開催し事業所全体の課題を共有・解決していく

(2) 自立した生活を送り集団・社会に上手に適応できるよう支援を行う

- ・「楽しく遊ぶ」「好きなことに取組む」「友達と仲良くすごす」「上手に意思表示(コミュニケーション)する」「お互いに認め合う」「得意なことを見つける」「年齢の異なった人と過ごす」など成長していく上で基本となる体験が楽しくできる場所にしていく
- ・衣服の着脱、排泄、片付けなど自立生活の力をつける
- ・周囲との折り合いをつけ、心の安定をはかれるようにサポートする
- ・学校・保護者との連携を密にして支援

(3) 安全確保

- ・災害対策計画に基づき避難訓練を実施
- ・救急・救命技術の体得
- ・発達障害研修、強度行動障害者研修参加

(4) 利用者拡大

- ・昨年度末卒業生が多かったので定員を満たすように新規利用者を確保する
- ・広報紙を通じてプレジールの魅力を地域に広報していく
- ・関係機関に案内
- ・見学、体験利用の積極的な企画実施

(5) 計画・目標

利用者	定員 10 人 90%稼働率を目指す 年間利用日数 平日(放課後)1685 日 長期休暇 297 日 計 1982 日
サービス活動収益計	19,221,000 円目標
加算	児童指導員加配加算、送迎加算、福祉専門職員配置加算 I、欠席対応加算、個別サポート対応加算 I、処遇改善加算、特定処遇改善加算

5、日中一時支援事業所「エスポワール」の事業計画

(1) 事業の目的

- ・障がい者等の日中における活動を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の疾病時等の場合の一時的な休息の確保を行う

(2) 事業の概要

- ・利用者 定員 10 人 大分市内の全域と臼杵市を対象
- ・事業時間  
祝祭日及び 12 月 29 日～1 月 3 日を除く月曜日から金曜日の午後 3 時 00 分から午後 5 時 30 分
- ・事業所の所在地と場所  
就労継続支援 B 型事業所 マルシェの事業所内  
相談室、談話室、便所、洗面室はマルシェと共用

(3)支援内容

- 1 日常生活における基本的知識・技能の付与
- 2 集団生活への適用のための訓練
- 3 健康管理の援助
- 4 見守り
- 5 送迎

(4)職員体制

管理者1名(兼務)と支援員(常勤 1 名)、補助支援員 1 名(非常勤)

(5)計画・目標

利用者	定員10人	利用者登録者15人 1日利用10人以下
	延べ利用回数	2,200回
	1日当たり利用者数	8.8人